

なかやま

議会だより

 No. 8

January 2019

発行日：平成31年1月15日

発行：中山町議会



自分たちで打ったそば！美味しくできました
(親子そば打ち体験教室)

師走の風物詩

一年の締めくくりと、新しい年に希望や期待を込めて、町のさまざまな団体で師走の風物詩となる活動が行われました。ここでは、親子そば打ち体験教室と、クリスマスリースづくりの2つをご紹介します。

このような、仲間や大人とふれあう活動が、情緒豊かな子どもたちを育てる貴重な体験になることを期待します。

目次

新年のごあいさつ 2・3

12月定例会	平成30年度一般会計補正予算 4
	その議案に賛成、反対 5
	請願と陳情（要望） 6
	ここが聞きたい！（一般質問） 7～13

議会活動報告 14～17

イベント情報 18

なかやま大好き！まち・ひとインタビュー 19

「礼儀・技術・体力」を求め
中山ミニバスケットボールスポーツ少年団 20



きれいなクリスマスリースができました
(ふるさと少年教室の子どもたち)

新年のごあいさつ



中山町議会議長
小関敏明

新年あけましておめでとございます。
町民の皆さまには、希望に満ちた輝かしい新春を迎えられましたこと、心からお慶び申し上げます。また、日頃より議会活動に格別なご理解とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、我が町におきましては、第5次中山町総合計画後期5か年基本計画に基づき、住民総参加型スポーツイベント「チャレンジデー」や「西郷隆盛・従道兄弟と中山町との縁ゆかり発信事業」の実施、長崎地区放課後児童クラブの開所などが行われました。

また、新事業として誰もが健康に暮らせる町の実現を目指した「なかやま健康くらぶ」の事業に取り組んでおり、本年も各種事業のさらなる進展が期待されるところであります。一方、人口減少や空き家問題など課題は山積しており、地

方を取り巻く状況は大変厳しいものがあります。議会といたしましても、これら山積する課題と向き合い、町執行部と互いに知恵を出し合いながら、町民の皆さまのご期待に添えるよう最大限の努力をまいります。
結びに、本年も皆さまの変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願いするとともに、皆さまのご健勝とご多幸を心よりご祈念申し上げます。



本年もどうぞよろしく申し上げます

謹賀新年 議員の『座右の銘』 (議席順)

西塔いく子 議員



恒久平和

佐東貞美 議員



初心忘るべからず

斎藤眞一 議員



やってみせ、
言ってみせ、
ほめてやらねば、
人は動かじ

鎌上 徹 議員



臨機応変

佐東幸治 議員



いつも感動!

堀川政美 議員



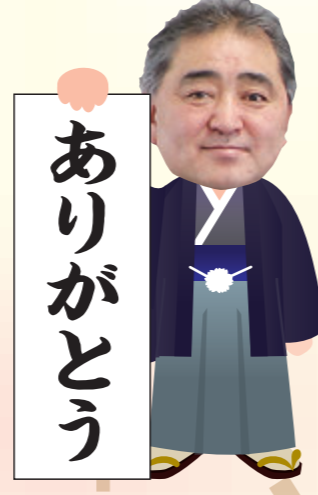
流汗拓道

須貝勝司 議員



佛心我悟

村山 隆 議員



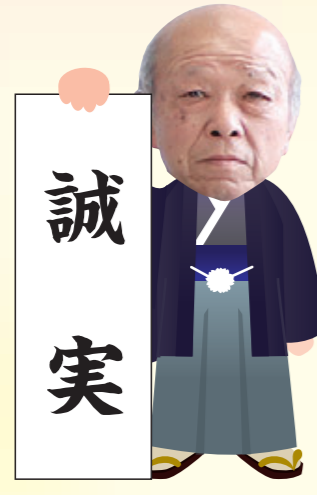
ありがとう

佐竹英規 議員



上善は
水の如し

小関敏明 議員



誠実



その議案に私は賛成、私は反対

12月定例会 採決状況

○賛成 ●反対 ⊕欠席 ⊖退席

議案番号	議案名と主な内容 (件名は一部省略しています)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	議長
		西塔いく子	佐東 貞美	堀川 政美	須貝 勝司	斎藤 眞一	鎌上 徹	佐東 幸治	村山 隆	佐竹 英規	小関 敏明
議第54号	平成30年度中山町一般会計補正予算(第3号)について 歳入歳出予算それぞれ384万8000円減額し、歳入歳出予算総額を49億9407万円とする	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*
55号	平成30年度中山町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について 歳入歳出予算それぞれ275万2000円減額し、歳入歳出予算総額を12億6592万6000円とする	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*
56号	平成30年度中山町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について 歳入歳出予算それぞれ60万3000円追加し、歳入歳出予算総額を1億3443万円とする	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*
57号	平成30年度中山町介護保険特別会計補正予算(第2号)について 歳入歳出予算それぞれ176万円減額し、歳入歳出予算総額を13億2446万2000円とする	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*
58号	平成30年度中山町公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)について 歳入歳出予算それぞれ3万8000円減額し、歳入歳出予算総額を5億332万6000円とする	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*
59号	一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について 一般職の職員の給与月額等の改定を行うため提案するものである	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*
60号	中山町総合計画策定条例の設定について 中山町のまちづくりの指針となる総合計画策定の根拠となる条例を設定するものである	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*
61号	農業委員の4分の1以上を認定農業者等とする同意について 町長が農業委員を任命するにあたり、委員の過半数を認定農業者等とすることが困難であるため、提案するものである	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*
62号	中山町農村集落多目的共同利用施設の指定管理者の指定について 指定団体 達磨寺・向新田地区農村集落多目的共同利用施設運営管理組合	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*
63号	中山町東部地区多目的交流センターの指定管理者の指定について 指定団体 旭町町内会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*
64号	中山町岡地区文化交流センターの指定管理者の指定について 指定団体 大字岡自治会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*
65号	長崎農村公園の指定管理者の指定について 指定団体 三軒屋・落合農村公園維持管理組合	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*
66号	岡農村公園の指定管理者の指定について 指定団体 大字岡自治会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*
67号	小塩農村公園の指定管理者の指定について 指定団体 小塩自治会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*
68号	お達磨の桜公園の指定管理者の指定について 指定団体 御達磨の桜公園維持管理組合	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*
69号	種子法廃止に伴う万全の対策を求める意見書の提出について 詳細は次のページ	○	○	○	●	●	○	○	○	○	*

*注：議長は採決に加わりません。

平成30年度一般会計補正予算

トピックス

① 暖かい冬を支援！

灯油購入費助成事業

高齢者のみ世帯・重度障がい者世帯・ひとり親世帯のうち、町民税が非課税の世帯に対し、冬期間における灯油購入費を1世帯当たり5000円、総額185万円を助成するものです。

トピックス

② 旧柏倉両家に火災報知機設置

柏倉家保存事業

旧柏倉九左衛門家および旧柏倉惣右衛門家に自動火災報知機を設置するための設計監理を委託し、工事費見積書により、その不足分1156万7000円を増額し、総額1856万7000円とするものです。

トピックス

③ 小学校トイレの洋式化が前進

長崎小学校施設管理事業

まだ和式しかない長崎小学校南校舎2階トイレと職員トイレを洋式化するため、4基分の181万5000円を補正し対応するものです。(⇒関連記事P11)

平成30年度一般会計補正予算(第3号)

一般会計補正予算は、歳入歳出予算の総額からそれぞれ384万8000円を減額し、それぞれ総額を49億9407万円とするものです。

【一般会計の主な補正予算項目】

歳入(収入)

項目	補正前の額	補正額	計	補正の理由など
民生費国庫負担金	2億3244万円	△35万円	2億3209万円	国民健康保険保険基盤安定負担金の決定による
民生費県負担金	1億3847万円	△55万円	1億3792万円	国民健康保険保険基盤安定制度負担金の決定による
民生費県補助金	4678万円	93万円	4771万円	灯油購入費助成事業補助金の決定による
基金繰入金	1億9757万円	△690万円	1億9067万円	小・中学校施設等整備基金からの繰入金の減額による
過年度収入	-	222万円	222万円	広域連合負担金過年度還付金による
土木債	1750万円	20万円	1770万円	道路橋梁改良事業債の決定による

歳出(支出)

項目	補正前の額	補正額	計	補正の理由など
一般管理費	2億4925万円	△315万円	2億4610万円	一般職給・職員手当等
税務総務費	5187万円	△251万円	4936万円	一般職給・職員手当等
戸籍住民基本台帳費	3966万円	△366万円	3600万円	一般職給・職員手当等
社会福祉総務費	1億7658万円	512万円	1億8170万円	一般職給・職員手当等、灯油購入費等助成金など
老人福祉費	4億1850万円	△199万円	4億1651万円	介護保険特別会計繰出金
学校管理費	1億422万円	△815万円	9607万円	長崎小学校施設等工事、豊田小学校施設等工事など
社会教育総務費	5239万円	388万円	5627万円	一般職給・職員手当等
文化財保護費	4006万円	477万円	4483万円	自動火災報知機設置工事など

平成30年度中山町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

一般会計繰入金の減額等により、歳入歳出予算の総額からそれぞれ275万2000円を減額し、それぞれ総額を12億6592万6000円とするものです。

平成30年度中山町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

過年度分事務費負担金精算により、歳入歳出予算の総額にそれぞれ60万3000円を追加し、それぞれ総額を1億3443万円とするものです。

平成30年度中山町介護保険特別会計補正予算(第2号)

中山町介護保険費歳出の実績により、歳入歳出予算の総額からそれぞれ176万円を減額し、それぞれ総額を13億2446万2000円とするものです。

平成30年度中山町公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)

財源内訳の変更により、歳入歳出予算の総額からそれぞれ3万8000円を減額し、それぞれ総額を5億332万6000円とするものです。

一般質問

一般質問とは、議員個人が、町長などに町政の執行状況や将来に対する考え方の説明や報告を求め、町が町民のために適切な町政運営を進めているかをチェックするものです。

6人の議員が一般質問

12月定例会では、6人の議員が11件の一般質問を行い、将来の町政について活発な議論を展開しました。

質問者(発言順)

堀川 政美 議員 (8ページ)

- 学校給食の無料化を目指せ!
- 防災士を育成せよ!

佐東 幸治 議員 (9ページ)

- 有害鳥獣に立ち向かえ!
- 魅力ある健康づくりのシステム化を

西塔いく子 議員 (10ページ)

- ボランティアの育成で共助のまちづくり!
- ゲーム依存症の危険性

村山 隆 議員 (11ページ)

- ストレスなくトイレを使いたい

佐竹 英規 議員 (12ページ)

- 地域福祉の確立と推進を図ろう!
- 町づくりの道標を再確認!

鎌上 徹 議員 (13ページ)

- イノシシ対策まったなし!
- 核となる団体の育成でイベントの効率化を

ここが聞きたい!

町政を問う

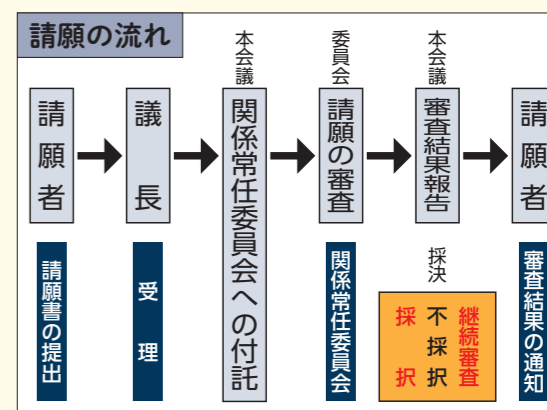
請願と陳情(要望)

12月定例会で継続審査案件を1件可決、新たに請願1件、要望書1件が提出されました。

12月5日、厚生産業常任委員会が開かれ、継続審査となっていた「種子法廃止に伴う万全の対策を求める請願」を、審査の結果、採択することに決定しました。

12月7日の本会議で審査結果の報告がなされ、賛成多数で採択することが決定。これに伴い、追加議案議第69号「種子法廃止に伴う万全の対策を求める意見書」が提出され、賛成多数で可決されました。

これを受け、意見書を議長名で衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、農林水産大臣に提出しました。



請願

ライドシェア*の導入に反対し、安全・安心なタクシーを国に求める意見書の提出について

受理年月日：平成30年10月25日

請願者：一般社団法人山形県ハイヤー協会 会長 石川 康夫

全国自動車交通労働組合連合会 山形地方本部 執行委員長 遠藤 栄二

紹介議員：須貝 勝司 付託委員会：厚生産業常任委員会

〔請願趣旨〕

タクシー事業は、地域生活に欠かせない安全・安心で快適・便利なドア・ツー・ドアの個別輸送機関であり、急速に少子高齢化が進展する中、地域住民や交通弱者のための移動手段として大きな役割を果たしています。

しかしながらライドシェアは、その事業主体が運転者の仲介のみを行う業務形態であるため、事業主体が運行管理や車両整備等について責任を負わず、自家用車の運転者のみが運送責任を負う形態を前提としており、安全の確保や利用者の保護等の観点から大きな問題が生じることが懸念されています。

よって、国においては次の事項について適切な措置を講じられるよう強く要望します。

1. ライドシェアは、利用者の安全・安心に極めて大きな懸念のある業態であり、その容認を行わないこと。
2. 地域において大きな役割を担っているタクシーはもとより、バスや鉄道を含めた地域公共交通維持・発展に向けた総合的な諸施策を講ずること。

以上、地方自治法第124条の規定により請願いたします。

*ライドシェアとは、直訳すると「ライド=乗る」ことを「シェア=共有」することで、一般的には「相乗り」や「配車サービス」を指します。自家用車の所有者と自動車に乗りたい人を結びつける移動手段で、自動車そのものを貸し出してシェアするカーシェアリングとは区別されています。

陳情(要望)

平成31年度理科教育設備整備費等補助金予算増額計上についてのお願い

受理年月日：平成30年9月11日 要望者：公益社団法人 日本理科教育振興協会 会長 大久保 昇

〔要望趣旨〕

昨年3月に小学校、中学校、本年3月に高等学校の次期学習指導要領が告知されました。

小中高等学校いずれも理科教育においては、ますます、観察・実験が重視され、今回初めて、学習指導要領の中で小中共に、環境整備に十分配慮することという一文が加えられました。

理科教育設備整備費等補助金事業は、小中高の観察・実験機器の整備拡充のための予算ですが、補助を受ける自治体が総事業費の半分を負担する事業です。

学校教育の理科教育環境整備のために、次年度の理科教育設備整備費予算の積極的な増額予算措置をお願い申し上げます。



ほりかわ まさみ 堀川 政美 議員

段階的に学校給食を無料化できないか？

問 少子化対策で子育て世代への経済的支援策として、学校給食無料化をどう考えているのか。

町長 恒常的に一定の収入が見込めるものではなく、財源として適当ではない。

問 山形県内において学校給食に対する助成措置の実施状況はどうなっているのか。

町長 全児童生徒を全額助成している鮭川村をはじめ、13自治体で実施している。

問 財源の一部として「ふるさと納税」を使えないか。

町長 「ふるさと納税」

問 中学校・高校進学

を控えた、経済的負担の大きい小学6年生と中学3年生を対象にするなど、段階的な学校給食無料化についてはどう考えているのか。



おいしい学校給食

町長 就学援助制度を利用しながら、保護者の負担軽減を図っている。第3子以降の児童生徒について助成

を行うことについては、今後検討していく。

防災士の育成で災害に備えを

問 中山町の自主防災会の組織率の状況は。

をどう考えているのか。

町長 現在、16の自主防災会が組織され、75.5%となっている。

問 組織率100%に向けた今後の取り組み

町長 未整備地区に対し、引き続き立ち上げを働きかけ、組織化に関する助言や講師派遣など、「中山町まちづくり推進事業補助金」を活用して支援していく。

また、県で行っている「山形県自主防災アドバイザー派遣事業」を活用して、全地区での組織化を目指していく。

問 防災士の育成についてはどう考えているのか。

町長 自主防災会の防災訓練の企画実施、災害時の救命救急活動や避難所運営

問 今後、防災士を増員し、町の防災対策を強化するため、消防団OBの方などに防災士の資格を取得していただくにはどうか。

町長 自主防災組織の方々に、「山形県防災士養成研修講座」を受講していただき防災士の増員を図り、町の危機管理に備えていく。

問 中山町に防災士は何名いるのか。

町長 有資格者は17名いる。



私たちの命を救う防災訓練

有害鳥獣に立ち向かえ！

問 町のイノシシなど、鳥獣被害対策は

答 積極的な捕獲活動により個体数管理を図る

問 近年急激に増加しているイノシシによる農作物や果樹園の掘り起こし被害に対して、町では現在どのような取り組みを行っているのか。

町長 害対策実施隊」を結成した。昨年と今年で新たに3名の方が狩猟免許を取得し、イノシシ捕獲用箱わななど、くくりわなの設置や、農地の巡回を行っている。

町長 平成28年12月に「中山町鳥獣被害防止計画」を策定し、平成29年5月には「鳥獣被

問 これまでの成果は出ているのか。

町長 目撃情報や被害箇所の数から、相当数のイノシシが存在していると思われるが、今後の対策はどのように進めるのか。

町長 昨年度から狩猟免許取得等に対する助成、今年度から電気柵設置に対する助成制度



町長 最上堰の除塵機に落水したイノシシも含め、12月5日現在で4頭を捕獲している。

を設けているが、実施隊がイノシシを捕獲した場合の、報奨金制度の創設も検討している。また、近隣市町で活動する熟練捕獲活動者への協力要請などを行う予定で、これまで以上にイノシシの個体数管理を図っていくが、放任果樹伐採などの農地管理や、積極的に狩猟免許を取得していただくなど、地区の方々にもご協力をお願いしたい。

問 「なかやま健康づくり」を町民に浸透させるには！

答 「健幸ポイントの導入」を検討している

町長 『歩いて健康のまちづくり』「なかやま健康くらぶ」事業の現状はどうか。

ポイントを付与するもので、町内の店舗での買物に使えることから、地域経済への波及効果と併せて、より多くの参加者が期待できる。「健幸アンバサダー」は現在47名で、来年2月にさらに53名の養成を目指している。さらなる町民への参加を働きかけたい。

問 次年度に向けて、健康無関心層への働きかけをどのように行っていくのか。

町長 来年度は「健幸ポイントの導入」を検討している。これは、「歩いた歩数」や「筋肉・体脂肪など体組成の改善や維持」などに応じて



雪にも負けない、健幸ウォーキング参加者



さとう こうじ 佐東 幸治 議員



さいとう いく子 議員

ボランティアの育成を

問 町民参加型の行事であるチャレンジデーや健康くらぶ、さらには高齢者や子育て応援の事業が多くなっているが、町職員に負担がかかり過ぎているように見える。町民の方がボランティアに参加しやすい仕組みづくりを行政が考え、援助すべきではないか。

町長 ボランティアの方々には、町の各種事業や、町が進めている地域の居場所づくり担

しかし、「条件が整えばボランティア活動に参加したい」という方も多く、今後、広報

ゲーム依存症に苦しむ児童生徒はいないか

問 中山町の自然環境は以前と変わりがなく、生活環境は大きく変わった。ゲーム依存症は、全国でも人知れず苦しんでいる方が多いのではないかと聞かれています。当町ではどうか。

教育長 普段の生活が

ゲーム依存症は病気

問 WHO（世界保健機関）はゲーム依存症を病気と認定した。問題を甘く見ないで、早い時期に手を打つべきではないか。

教育長 中学生になるとICT機器の所持や、自由に過ごせる時間が増えるため、ゲーム等を行う機会が増える。正しい判断がで



今後のまちづくりで重視すべき基本的な方向

(年代別上位3位までの項目・複数回答)

		(単位：%)		
(一般町民調査)		第1位	第2位	第3位
年齢	20代	子育て・教育のまち 41.3	健康・福祉のまち 37.0	快適住環境のまち 28.3
	30代	快適住環境のまち/子育て・教育のまち(同率1位) 42.7	健康・福祉のまち 39.8	子育て・教育のまち 32.2
	40代	快適住環境のまち 49.7	健康・福祉のまち 38.3	子育て・教育のまち 24.8
	50代	健康・福祉のまち 49.5	快適住環境のまち 44.4	子育て・教育のまち 24.8
	60代	健康・福祉のまち 54.9	快適住環境のまち 34.9	住民参画・協働のまち 22.6
	70歳以上	健康・福祉のまち 57.6	住民参画・協働のまち 22.7	快適住環境のまち 22.0

(出典：第5次中山町総合計画より)

(一言) 町民調査でも「住民参画・協働のまち」への意識は少ない。これをボランティアの育成につなげられないか。

等でわかりやすい情報提供の工夫や、環境整備に努めていく。

ストレスなくトイレを使いたい

ートイレ改修大幅に進展ー

問 前回、学校のトイレの質問をしたところ、多くの反響が寄せられた。そこで今回は学校以外の公共施設などのトイレについての現状を伺いたい。

結果、男性用・女性用・男女共用の合計で432基の大便器のうち、洋式化されているのは204基であった。主な所例えば、役場庁舎は43%、保健福祉センターは53%、中央公民館は58%であった。

問 総合体育館はどうか。

教育課長 男性用が9.2%、女性用が16.2%とな



きれいなトイレでストレスなく

2%とな

問 利用者からの要望はあるのか。

教育課長 中央公民館

を設置してほしいという要望があり、それについては今後検討することになっている。それ以外の要望は特に把握していない。

問 今後の改修計画は。

教育課長 これまで未整備であった長崎小学校の南校舎2階トイレと職員用のトイレ(男女4基)については、今回の補正予算で対応した。来年度については両小学校のほか、一部施設のトイレの洋式化を予定している。それ以外は、個別に必要な性を検討しながら対応していく。

最後に一言 トイレの洋式化については、公共施設や自治公民館など、災害時の避難場所になっているところが多いので、各施設の要望を詳しく調査し、補助制度を拡充するなどして対応していくべきである。さらに、高齢者や障がい者にもやさしいユニバーサルトイレ(多目的トイレ)の設置も急ぐべきである。

町有施設等トイレの洋式化率

全体	(男女計)	47.2%
役場庁舎	(男女計)	42.9%
保健福祉センター	(男女計)	53.3%
中央公民館	(男女計)	58.3%
総合体育館	(男)	9.2%
	(女)	16.2%
ひまわり温泉ゆ・ら・ら	(男)	54.5%
	(女)	41.2%
	(共用)	100.0%
ひまわりグラウンドゴルフ場	(男女計)	36.3%

ひまわり温泉ゆ・ら・ら、ひまわりグラウンドゴルフ場は独自調査、ほかは役場発表による。



むらやま たかし 議員



さ た け ひ で き 佐竹 英規 議員

地域福祉の確立と推進を図ろう！

問 社会的孤立等の地域生活課題を、「我が事」として捉えられるよう、どのようにして住民の気付きとつながりを醸成するのか。

を図ることが「住民の気付き」にもつながっていくので、さらに事業を推進していく。

町長 対策の一つとして「居場所づくり」が必要と考えており、町では平成29年度より、

問 保健・医療・福祉など、関係機関との連携による地域生活課題の解決に向けた取り組みは。

支え合う地域づくりを推進するために「生活支援体制整備事業」に取り組んでいる。地域コミュニティの活性化

町長 健康福祉課・社会福祉協議会・地域包括支援センターは隣接しているため、相談者が相談しやすい環境に



健康で長生きしたい！（なかやま健康くらぶ いきいきタイム）

なっている。対応困難なケースも増加しているが、参考事例を踏まえて必要な支援体制を構築するため、さらに関係機関との連携に努めていく。

境整備を進めていくのか。

町長 委託先の地域包括支援センター・社会福祉協議会において、必要な人材の確保とキャリアアップを図っていた

町長 委託先の地域包括支援センター・社会福祉協議会において、必要な人材の確保とキャリアアップを図っていた

問 その人らしい生活を支えるための福祉人材の確保・育成・定着にどのように取り組み、また誰もが安心して心豊かに暮らせる環

境を整備を進めていくのか。

題について情報交換や対応をしていただけのような支援していく。また、居場所づくりの担

い手など地域でサポートしてくださる方が活動しやすい環境を整備していく。

町づくりの道標を再確認！

問 町のキャッチフレーズ『スポーツとフルーツ 伸びゆく町なかやま』をどう思っているのか。

町づくりをする上で、町民が健康であるということが基本であり、そうでなければ、健康な町をつくることはできないと考えている。今後もこのキャッチフレーズを繰り返し用いることで、町の特性を内外に訴え、町のイメージアップを図るとともに、町民の皆さまとの連帯感をより一層深めていくことが重要であると思っている。

町長 このキャッチフレーズは、昭和55年に町民の皆さまから広く募集し、応募のあった作品の中から選考委員会により協議が行われ、制定されたものである。私は、「町づくりの根幹となる道標」であると思っている。

町づくりをする上で、町民が健康であるということが基本であり、そうでなければ、健康な町をつくることはできないと考えている。今後もこのキャッチフレーズを繰り返し用いることで、町の特性を内外に訴え、町のイメージアップを図るとともに、町民の皆さまとの連帯感をより一層深めていくことが重要であると思っている。



町のキャッチフレーズ

イノシシ対策 まったなし！

問 隣接の市町村では有害鳥獣捕獲に報奨金を出しているが、中山町でも実施するべきでは。

奨金が有効であると考ええる。来年度の予算編成に向け、詳細な制度設計を行っていく。

町長 当町以外の東南村山全市町では、報奨金制度を設け、鳥獣被害対策実施隊が行う捕獲活動を推進し、捕獲実績を上げている。

問 目に見える実行が必要ではないか。

中山分会の皆さまの協力を得て、捕獲活動を

町長 これまで猟友会が実施し、着実に成果も上がってきている。狩猟免許取得に対する助成や、実施隊に対する報奨金制度を周知し、

え、当町においても、実施隊の活動を活性化し、実効性のある取り組みとするためには報

奨金制度を周知し、

イノシシ捕獲に積極的に取り組む活動者の拡大を促進していきたい。



イノシシ捕獲に報奨金を

統括団体の構築を

問 観光協会を独立させ、イベント関係の仕事を一括して計画、実施させては。

めには、現在の組織体制を見直し、町内の各団体・組織が一体となって取り組めるように、観光協会が中心となり、主催団体の再編・統合を進めるべきと考えている。

町長 現在、観光分野においては、地域資源を活かした多彩な誘客イベントを開催しており、イベントごとに主催団体が組織されている。さらなる知名度向上、誘客拡大を図るた

問 柏倉家も核となる管理団体が必要なのは。

組織のイメージ図



成功のカギは統括団体の構築にあり

町長 施設の管理組織は、これまでもご尽力いただいている黒塀のまちなみ保存活用協議会等の関係団体が最も望ましいと考えているが、業務委託および指定管理者制度の導入も想定している。ほかの民間団体を含め、自立し責任を持って柏倉家住宅の管理を行う意向のある団体に担っていただきたいと考えている。

問 スポーツ関係も全体を取り仕切る団体が必要なのは。

町長 平成26年に行った「中山町におけるスポーツのまちづくり・研修会」を今後も開催して、研修会の中で中山町におけるスポーツのあり方を模索して、スポーツ団体との連携を強化し、各団体とともにスポーツ事業を取りまとめたい。いなほな組織のあり方を検討していきたい。



かまかみ とおる 鎌上 徹 議員

議会活動報告

「柏倉九左衛門家 縁の品」を購入

柏倉家住宅保存・利活用特別委員会報告

12月6日、第11回目の委員会が開かれました。会議に先立ち午前9時30分から現地視察が行われ、今年度当初予算に計上され、町で購入することになった「柏倉九左衛門家 縁の品」を拝見しました。

古くは江戸時代、安政年間に作られた輪島塗の吸物椀や総うるしの招待膳（会席膳）一式、家紋入りの金時絵の五段重など、総点数は1000点を超えます。これらの品々は100年以上前に作られたにもかかわらず、大変保存状態が良く、往時の大庄屋・豪農の生活が垣間見えます。

これまで中山町は、柏倉九左衛門家・惣右衛門家両家の土地や建物、ひな道具などを無償で譲り受けていましたが、このたび、これら1000点におよぶ縁の品々を100万円で購入することとしました。



定紋附梅ノ沈金 扇形吸物膳

その後、会場を役場会議室に移し、午前10時30分から開かれた委員会で、柏倉家住宅保存・利活用基本計画（案）の改定案の説明があり、これについては概ね了承しました。次に実施計画（案）が初めて提示され説明を受けました。それによると、計画の期間は平成31年から35年の5年間で、各年の年間入場者数やKPI（重要業績評価指数）などの目標値が示されたほか、全体のゾーニング案（文化財保護エリア・自然環境保護エリア・観光交流エリア）、各施設の事業計画・実施体制、さらに事業費の総額（予想）などが示されました。

委員からは

- ①観光客の大幅な増を見込むための研究が必要
- ②計画期間は5年ではなく、10年程度にすべき
- ③公開に耐える整備をすべき
- ④北蔵を公開してほしい
- ⑤実施体制の担当部署を明確にし、専門職員を配置すべき

など多くの質問や意見が出され、予定の時間を延長して議論が行われました。その結果、次回の3月定例会までに再度計画案の提示を行うということで了承しました。

最後に「柏倉九左衛門家 縁の品」の購入の件を了承し、委員会は閉じられました。



初雪の柏倉九左衛門家（平成30年12月9日撮影）

※ゾーニングとは、空間をテーマや用途に分けて考えることをいいます。エリア開発、敷地配置、住戸内配置など、規模の違いはあっても、空間デザインを考える上で基本になるものです。

大量消費から資源循環へ

山形広域環境事務組合議員行政視察報告

- 研修日 平成30年11月19日(月)・20日(火)
- 研修視察地 (19日) 秋田市総合環境センター・リサイクルプラザ
(20日) 秋田市汚泥再生処理センター
- 研修目的 ごみの資源化および熱エネルギーの回収状況と、し尿処理の最新技術を視察・研究
- 中山町選出・構成議員 堀川政美、村山 隆

(総合環境センター・リサイクルプラザ)

ダイオキシン対策など、環境面においても優れた特性を持つ新しい処理方式「ガス化溶融炉」で、多様なごみを受け入れ、資源化しています。さらに、ごみ焼却により発生した熱エネルギーを電力等の形で再利用し、余剰電力の売電を行っていました。



研修中の山形広域環境事務組合議会議員メンバー

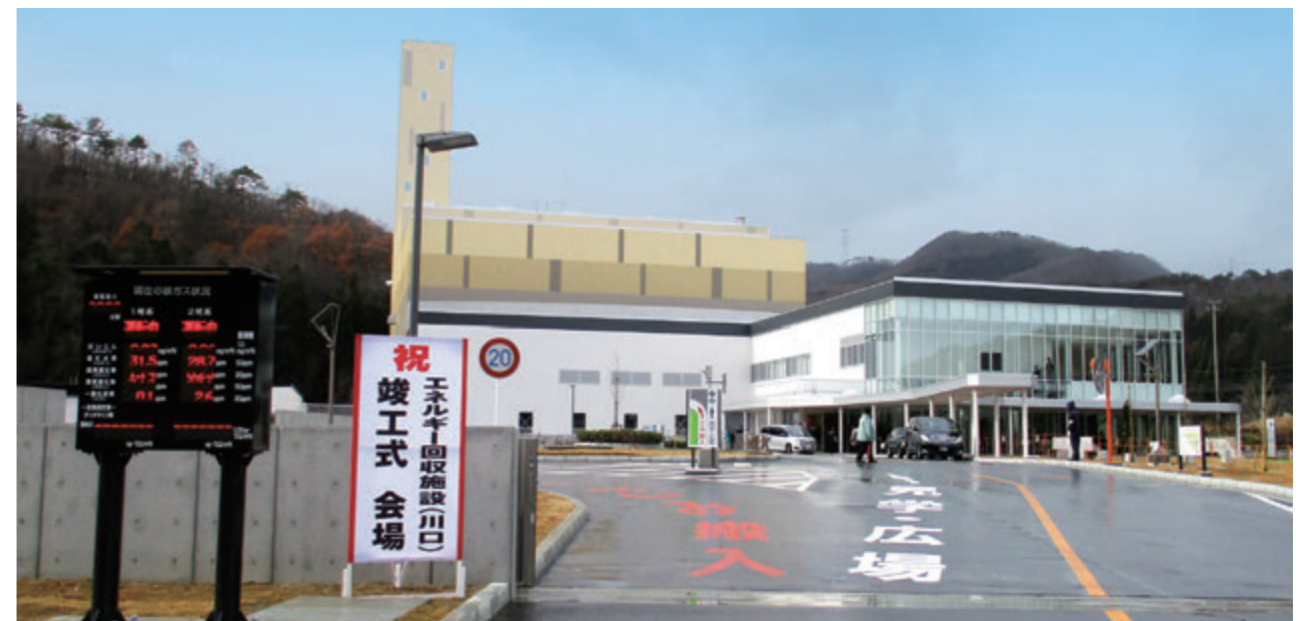
(汚泥再生処理センター)

高度な技術と最新の設備により、秋田市全域から集めた汚泥を「助燃剤化」する施設で、できた助燃剤は、総合環境センター・リサイクルプラザでごみ焼却に使用していました。

山形広域環境事務組合エネルギー回収施設(川口)本格稼働!! 12月1日竣工式

かねてより建設を進めてきた、山形広域環境事務組合の新たなごみ処理施設「エネルギー回収施設(川口)」が完成し、竣工式が行われ本格稼働しました。

同施設で行われた竣工式には、中山町・山形市・上山市・山辺町の関係者、約100名が出席しました。今後は、1日150トンのごみが処理されることとなります。(⇒関連記事P16)



エネルギー回収施設(川口) 【場所】上山市川口字五反田854番1

命の水を大切に！ 水道水は自然の恵み

最上川中部水道企業団議会報告／議員構成および選出区分(山形市2名、山辺町3名、中山町6名)

10月4日と12月20日に企業団議会が開催されました。専決処分を含む平成30年度事業会計補正予算、平成29年度事業会計利益の処分および決算が審議され、原案のとおり可決、承認、認定されました。

専決処分の内容は、新堀川の河川整備のため8月中の水道管撤去が必要となり、時間的余裕がなかったことによるものです。また、補正予算の主な理由として、相模ポンプ場(山辺町)の更新用地の取得や、宅地造成に伴う配水管布設工事費、県人事委員会勧告に準ずる職員給与費の増額によるものとなっています(別表1、2参照)。

別表1 平成29年度事業会計利益の処分および決算(税込み)

水道事業収益	6億6597万6868円
水道事業費用	5億3201万7944円
当年度純利益	1億3395万8924円
資本的収入	342万7600円
資本的支出	2億53万3672円
不足額	1億9710万6072円 (損益勘定留保資金等で補てん)



議会前の様子

別表2 平成30年度事業会計補正予算

科目	既決予算額	補正額	計
水道事業収益	6億5539万5000円	145万円	6億5684万5000円
水道事業費用	5億4912万6000円	803万4000円	5億5716万円
資本的収入	0円	780万円	780万円
資本的支出	2億402万8000円	1677万1000円	2億2079万9000円



命の水を守る最上川中部水道企業団施設

まるでホテルのような ごみ処理場

中山町・山辺町両町議会議員協議会報告

- 研修日 平成30年12月11日(火)
- 研修視察地 エネルギー回収施設(上山市川口)
- 研修場所 山辺町内
- 研修目的 1.最新のエネルギー回収施設の仕組みを学ぶ
2.鳥獣被害対策について

●研修内容

1. エネルギー回収施設の視察

この施設では、「信頼できる施設」「安心できる施設」「親近感のある施設」の3つのコンセプトのもと、地域に根差した施設として、山形市・上山市・山辺町・中山町から排出される燃やせるごみを処理しています。

最新の技術で、ダイオキシンをはじめとする有害物質を処理し、なおかつ公害防止に係る自主基準値を厳しく設定して運営されています。また、ごみ焼却時に発生する熱エネルギーで発電を行い、施設の電力をまかなうとともに、余剰電力の売電もしています。廃熱はロードヒーティングや、足湯などにも利用されています。

さらに、ごみに含まれる鉄とアルミは資源として回収。焼却灰は高温で熔融・冷却してスラグ(小石状態になったごみ)とし、コンクリート製品や道路用の資材として活用していきます。



熱心に説明を受ける両町議員



気軽に立ち寄れる施設

施設内には、子どもがごみ処理の仕組みを遊びながら学べる遊具や歩行型足湯、かまどが使える「ふるさとの森」など、家族で過ごせる空間が整備されており、事業コンセプトどおりの「親近感のある施設」だと感じました。また、景観に配慮された色彩やデザインは清潔感があり、特にエントランスホールはまるでホテルのような雰囲気、従来のごみ処理場のイメージとはかけはなれたものになっています。

2. 鳥獣被害対策について

両町の共通課題として、鳥獣被害対策についての取り組みを発表後、活発な意見交換が行われました。その結果、2つのことを結論付けました。

- ① 両議会から実施隊協議会開催を要望する。
- ② 町村議会議長会でも話題を提供し、広域活動を図る。

鳥獣被害対策は喫緊の課題であり、互いに知恵を出し合い対応し、費用対効果のバランスを探っていくことが重要であると感じました。



な かやま 大好き!

No.3

まち・ひとインタビュー

「まち・ひとインタビュー」では、中山町が大好きで、町内で活躍する元気な「若者」にインタビュー。
第3回は「YUKIHIRA COFFEE」オーナーの齊藤真二さんです。

町のアイコンを創りたい

※象徵・目印

〜何もないからこそ、何でもできる〜

店名の由来は?

齊藤さん 自分で生豆を焙煎するところからコーヒーを楽しみたいと考えていました。試行錯誤を繰り返して、そのときに使ったのが「雪平鍋」。この鍋こそが自分のコーヒーの原点、初心を忘れずにということで「YUKIHIRA COFFEE」と名付けました。

中山町について どう思いますか?

齊藤さん 6年間東京で暮らし、中山町に帰ってきたとき「何も変わっていないな」と感じ、危機感を覚えました。でもその「何もない」からこそ「何でもできる」という中山町の可能性も感じました。また山形、寒河江、天童、大江町

今後の町づくりについて望むことは?

齊藤さん 町内には多くの空き家があります。その空き家を機能的に活用することで、おもしろい企画ができるのではないかと考えています。今話題の東京の「清澄白河」のように一つの店（コーヒー店）の出現で、そこに人が集い、また店ができる。そこにまた人が集



プロフィール

さいとう しんじ
齊藤 真二さん (31歳)
長崎 川端地区出身
[YUKIHIRA COFFEE] オーナー

家業（自動車修理・販売業）のかたわらコーヒー好きが高じてオリジナルブランド「YUKIHIRA COFFEE」を立ち上げる。平成29年12月には、町のシンボル「楯の大イチョウ」の近く、国道112号線沿いに自家焙煎のコーヒースタンドをオープンし、中山町の情報発信基地として活動中！趣味は自転車と映画鑑賞。

※清澄白河…東京都江東区にある下町の地名。若者の人気スポット、住みたいまちランキング急上昇中。



齊藤さん、ありがとうございました。(平成30年12月6日の取材の様子)

2市2町 イベント情報

山形市・上市市・山辺町・中山町

①とき ②ところ ③内容 ④問い合わせ

上市市民俗行事 加勢鳥

- ①平成31年2月11日(月・祝) 10:00~15:30
- ②上山城~市内(中心市街地や温泉街などを練り歩きます)
- ③江戸時代初期から伝わる、ミノをかぶった若者に祝い水をかけ、五穀豊穡と商売繁盛、火伏せを祈る上山の冬の風物詩です。ぜひご覧いただき、勢いよく水をかけてみませんか。
- ④上市市観光物産協会 Tel.023-672-0839

蔵王樹氷まつり2019

- ①平成31年3月3日(日)まで
- ②蔵王温泉スキー場
- ③「1000人松明滑走」「冬のHANABI」「樹氷ライトアップ観賞」など、冬の蔵王温泉スキー場を楽しめるさまざまなイベントが開催されます。
- ④蔵王樹氷まつり協議会 Tel.023-647-2266

「ひな人形展」と「まちなか雑ミュージアム」

- ひな人形展
 - ①平成31年2月16日(土)~3月24日(日)
 - ②山辺町ふるさと資料館
 - ③歴史的に貴重な雛人形が展示されます。
- まちなか雑ミュージアム
 - ①平成31年3月2日(土)~3月24日(日)
 - ②町内中心商店街周辺店舗
 - ③展示協力店舗では、どこにもないユニークなお雑様がご覧いただけます。
 - ④山辺町ふるさと資料館 Tel.023-664-5033

桜のライトアップと霞城観桜会

- ライトアップ
 - ①平成31年4月予定 桜の咲き初め~
 - ②馬見ヶ崎河川敷 霞城公園
- 霞城観桜会
 - ①平成31年4月中旬
 - ②霞城公園
 - ③期間中の土日にさまざまなイベントを開催
 - ④山形市観光物産課 Tel.023-641-1212

中山町の情報は「広報なかやま」「お知らせ版」をご覧ください。

平成30年 中山町議会12月定例会日程表

期日	会議	備考
12月5日(水)	本会議 (厚生産業常任委員会)	一般質問・請願1件 議案調査(付託案件審査)
12月6日(木)	休会 (柏倉家住宅保存・利活用特別委員会) (議員懇談会)	議案調査
12月7日(金)	本会議 (全員協議会) (議会広報常任委員会)	請願(厚生産業常任委員会付託の件) 議第54~61号 各件毎提案理由の説明、質疑、討論、採決 議第62号~64号・議第65号~68号 一括提案理由の説明、質疑、各件毎討論、採決 議第69号 提案理由の説明、質疑、討論、採決

みんなの議会 傍聴しませんか お気軽にお越しください。

次回の定例会は **3月4日(月)~12日(火)** の予定です。

お問い合わせ：中山町議会事務局 ☎023-662-4370

スポーツの町 なかやま

連載シリーズ

スポ少 訪問記

中山町にはスポーツ少年団が8つあります。①野球②サッカー③硬式テニス④剣道⑤卓球⑥柔道⑦ソフトテニス⑧バスケットボールです。「スポ少訪問記」では各団を訪問して、活動の様子や目標、団の歴史や指導方針などとともに、団員のぼくの夢・わたしの夢などをシリーズで掲載してまいりました。

(スポ少訪問記は、今回で連載終了となります。)

第8回 中山ミニバスケットボールスポーツ少年団

中山ミニバスケットボールスポーツ少年団は、昭和55年に設立され、今年で39年目を迎えます。現在は男子18名・女子22名の40名で活動しています。また創設時の小中通してのチームキャッチフレーズである、「より強くより速く」(男子)、「想いを込めて！より速く翔べ中山」(女子)という先輩たちの言葉を引き継ぎ、「礼儀・技術・体力」を求め、一生懸命に取り組むことを楽しめるように日々頑張っ練習しています。

今年は、6年生が目標にしている“東北大会”(県ベスト4)に出場できるように団員全員で頑張っています。

バスケットボールはチーム競技です。協調性や仲間意識が求められ、向上できるのがバスケット！一度練習に来てみませんか？



男子は11月末の地区予選で敗退し、6年生の公式戦は終了しました。女子は11月末の地区予選で9位代表で12月22日からの県大会に臨みます。

団長：叶 敬一 代表指導者：太田孝一
 父母の会会長・副会長：鈴木恵洋・石川政人
 指導者：亀井文昭・森谷美香・渡辺楓・大津和弘・工藤健ほか
 練習日：火曜日・金曜日の18:20～20:30(4年生以上)
 水曜日の18:20～20:30(3年生以下の基本練習など)
 土曜日・日曜日・祝日は、日によって違います。
 練習場所：中山町総合体育館・長崎小体育館・豊田小体育館

見学や体験の申し込みは、ミニバスケスポ少の児童やその保護者、または太田まで！

記載責任者：太田孝一 090-5180-1309
 中山バスケットボールスポーツ少年団(正式名称)代表指導者・中山ミニバスケットボールスポーツ少年団 監督

ぼくの夢
わたしの夢



平成30年度 女子キャプテン 豊田小6年 **鈴木奈那美さん**

私は姉(高校1年)がバスケットをしていたのがきっかけで、小学校1年生から始めました。オフェンス(攻撃)ではシュートを決めたり、ディフェンス(守り)では相手ボールをカットしたりすることが、とても楽しいです。今年は背の低いチームなので、みんなで攻撃的なディフェンスを目標に東北大会を目指しています。ぜひみなさんも一緒にバスケットをしてみませんか。体力もついて、足も速くなります。私はもっと体力をつけて、いっぱい走ってがんばりたいです。

編集後記

議会だよりも平成29年に始まり3年目を迎えました。今年も新しい年を迎え、これからは町民の皆さまがわかりやすく読みやすい紙面を目指して、委員会のメンバー全員が思いを一つにして編集作業を行ってまいります。紙面に対するご意見をぜひお聞かせください。皆さまの声が私たちに大切な一言となります。今後とも議会だよりをよろしく願います。(鎌上 徹)

議会広報常任委員会
 委員長 村山 隆
 副委員長 堀川 政
 委員 鎌上 政隆
 委員 佐東 英幸
 委員 佐竹 規治

なかやま議会だより

No.8

発行日：平成31年1月15日
 発行：中山町議会

〒990-0492 山形県東村山郡中山町大字長崎120番地
 TEL:023-662-4370 FAX:023-662-2538
 E-mail:gikai@town.nakayama.yamagata.jp
 印刷：大場印刷株式会社

皆さまのご意見、ご感想など、お寄せください。次回第9号の発行は5月1日です。
 「なかやま議会だより」の文字書体は誰にでも読みやすいユニバーサル書体を使用しています